

友好祭二二一入

NO.1
57.4.30

千代田区丸の内1の1
日本交通公社
海外旅行部内
第六回世界青年学生平和友好祭 日本実行委員会
TEL (03)1679

第一回日本実行委員会

四月六日午後二時半から衆議院第二会館で第六回世界青年学生平和友好祭日本実行準備会が開催された。(参加団体別紙一略)

当日決められたことは次のとおりである。

一、実行委の構成

第六回世界青年学生平和友好祭に賛成するすべての青年団体、学生団体及び関係団体で中央実行委を構成する。

二、実行委員会の役割及び運営

① 実行委団体中から左の役員を選出する。

実行委員長 一、 副委員長 二、 事務局長 一、

② 実行委員団体から常任委員若干を選出し、具体的な運動の企画立案にあたる。

◎ 白青柳、全青柳、YMCA、全学連、民青、日慶

青年部、日ソ、日本のうた、三九実行委、国民文化会、東京実行委員会の十団体を推薦。

③ 常任実行委の中に次の専門部をもつける(担当団体次のとおり)

(1) 企画部 全学連、日本のうた、三九実行委、日慶青年部

(2) 広報部 全青柳、日ソ、国民文化会、東京実行委

(3) 財政部 全青柳、YMCA

(4) 会計監査二名を選出する。但し常任実行委を出している以外の団体であること(未定)

④ 中央実行委員会事務局の設置 四月十日より三名で発定

三、実行委の財政

実行委に構成されていているすべての団体から一定の負担金を徴収する。

(1) 常任実行委団体 一ヶ月 十円

(2) その他以外の団体 一ヶ月 五百円

⑤ 代表団員から一定の負担金を徴収する 三十円と決定

⑥ この運動に賛成する団体、個人からカンパをうけることができる

四、実行予算

常任実行委で予算案を作成したうえ、実行委に提案する。

五、代表団の構成

① 日本から派遣する代表団の人数は国際準備会で決定したワケ五〇〇名を最高限度とする

② 代表となる資格

(1) 組織代表及び個人とし、第六回フェスティバルに参加する者三十五才以下の者に限る(但し特別の事

横める場合は中央実行委で検討する。

① 中央実行委が決定した負担金を納入したことを證明し、代表団員であることを確認した者に限る

代表団員として確認したものは証明書を送行する

② 代表の割当は常任実行委で原案を至極作成したうえ、実行委に提案する(別項 第二回実行委参照)

③ 運動のすすめ方

④ 中央実行委で主催する中央祭典は原則として開催し、但し中央実行委に参加している団体は自主的に計画し、開催するすべての中央祭典は日本の祭典の一環としてとりあつかいをする。

⑤ 各府県及び地域ごとに計画されている地方の祭典を成功させるために、中央実行委に構成されているすべての団体の連名においてよびかけを行う。

同時に中央実行委に参加しているすべての団体は地方組織に対して、地域ごとに組織されている地方祭典に参加するよう自主的の指導をおこなう。

⑥ 各府県及び地域ごとに計画されている祭典を成功させるためには、その府県、地域、特に青年学生に共通する具体的な問題をとりあげ、青年学生

の生活をよりよくし、権利をまもるための話しあいを積極的に行う。

⑦ 全国各地で開催されている地方祭典を成功させ、全国的な結合した運動に高めるために積極的な宣伝活動を行う。

⑧ 当面軍事的に行うものはニュース、ポスター、モスクワ祭典のプログラム及びよびかけ、準備の模範などの内容を中心とした資料の作成等々。

⑨ 国際準備委員の選出

祭典に参加する各国から国際準備委員を選出することになつているので国際準備委員選出を常任実行委でおこなう。

八、渡航方法

(1) 香港—中国聖地

(2) 国内船又はソウエト船によるナホトカ聖地

(3) インド、カヌール聖地

九、費用はいくらかかるか

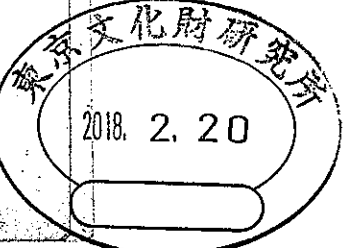
(1) 渡航事務費 三、四〇〇円(旅券 一五〇〇円)

注財 九〇〇円、ヒサ約 一〇〇〇円)

(2) 中央実行委在留費用(分担金 三〇〇〇円(全代表に納入してもらう))

(3) 通訳、代表団事務局費用の分担金(十五人につき一人の手定)七〇〇円(茶後)(但しこの額は香港コースの概算後、他コースの場合や人数の変動があつた場合は変更する)。

(ウラエ)



④モスクワ滞在費
三ドル(又はそれに代りし各國の通貨)
一〇、八〇〇円

⑤小遣い若干 十〜二十ドル位

⑥ソビエト、中国内交通費は国際準備会に援助して
もらう。

⑦渡航費
(1) 国内船のチャーターは極めて困難なので国際準備
会あてに配船を依頼しているが、その可能性や至
費は不明。実現した場合には香港聖田よりも安い
見込みである。

⑧香港聖田
日航夜 羽田―香港往復 一人 九四、三五〇円
香港―泉州(中国国境)までの汽車賃及び香港―
泊費用その他として(約三、六〇〇円)

⑨インド、カヌール聖田
羽田―カヌール往復 七一六ドル二五、七六〇円
その他にカヌールまでの宿泊費の必要有無は現在不
明

中国聖田が決まれば七月二十日にマンサエーリでソビ
エトの列車にのることになる、船でナト力直行の場
合は七月十日より十五日には日本を出発し忘れればなら
ない

⑩各代表の費用
代表の費用は五月十五日より開始し三十一日迄
とする。

二 第二回日本実行委員会

第二回実行委員会は四月二十二日家路第二会館で開催
された。当日確認された内容は次のとおりである。

(一) 役員

実行委員長には全青婦会議、副実行委員長には日青
協、全学連がそれぞれ第二回実行委員会として
三団体に要請することに成り、事務局長は全青婦、
日青協、全学連の三者で検討することに成った。

① 予算案の審議
総予算一〇二万五千円の予算案を審議可決した。

実行予算案(四月〜八月)

収入

- 前任実行団体 十団体
一〇〇×一〇×五ヶ月五〇、〇〇〇円
 - 実行団体 三十団体
五〇×三〇×五ヶ月七五、〇〇〇円
 - 代表負担金 一人につき三〇〇〇円
三〇〇×三〇〇人九〇〇、〇〇〇円
- 計 一、〇二五、〇〇〇円

支出

- 人件費 一九六、〇〇〇円
- 文通費 九九、〇〇〇円

○ 事務費 六〇、〇〇〇円

○ 通信費及び広報代 六七、〇〇〇円

○ 宣伝費 一〇八、〇〇〇円

○ 印刷費 三三、〇〇〇円

○ 会議費 五四、〇〇〇円

○ 国際基金 一五〇、〇〇〇円

○ 予備費 一〇〇、〇〇〇円

○ 雑費 一五八、〇〇〇円

計 一、〇二五、〇〇〇円

② 確認事項
① 支出総額が実行予算をうまわった場合にはその
不足額を代表より臨時徴収する

② 支出の総額を上まわる収入があつた場合には全額
代表に返済する。

③ 旅券、その他の事情で出発できない人、または途
中から代表を辞退した人の負担金は一切返済しない

④ 代表の割当
五百名中、代表団事務局長五名、通訳三十名、計三
十五名を除いた四百六十五名を中央百六十五名、地
方三百名に大きく二分する。

⑤ 中央には、各中央団体代表、文化芸術代表、原爆
被害者代表、議院代表団籍が含まれる。

⑥ 地方代表は一丸、東京三十名、大阪二十五名、北海
道十名、その他各地方の代表を要する。

但し之れはあくまでも運動をすすめるべき上での
目安であり、それ以外の地方の運動の発展に依り
て変更していく

四 国際準備会への提案について

第六回世界青年学生平和友好祭のプログラムに日本
実行委員会は世界青年学生平和祭会の開催を提案す
る。

これは第三回原水爆禁止世界大会に呼応して世界の
青年学生が原水爆禁止を中心とする平和運動につい
て各団体の状況を相互に交流することにも、今右の運
動の方向を明らかにする為の話し合いの場として世
界で最初に、しかも二次の原爆の洗礼を受けた日本
から提案されるものである。

尚期日は八月六日より三日間を予定しているが議
題、討議内容については更に前任実行委員会を被討
する。

四 第三回実行委員会の開催について

各地方実行委員会(準備会)を含めた第三回実行委
員会を来る五月七日に開催する
場所は家路会館の予定。

実行委で記者会見

四月二十二日第二回実行委員会終了後、日本実行委
員会では五の各報、隔日記者会見をおこなった。

毎日、中日、東京、日刊スポーツ、共同通信 NH
K、毎日通信、アツア通信、ア刀ハタ

○実行部
五〇〇×三〇×五ヶ月〇七五
○代表買掛金 一人に三〇〇〇円
三〇〇×三〇〇×九〇〇〇〇〇円
計一、〇二五、〇〇〇円

支出
○入件費 一九六、〇〇〇円
○文運費 九九、〇〇〇円

四月二十二日第二回
懇談会では左の各務、願と記者会宛を
毎日、中日、東京、日刊スポーツ、共同通信
毎日、中野、東京、日刊スポーツ、共同通信
K 収ス通信、アツア通信、ア刀ハタ

友好祭へむけた各地の動き

第六回世界青年学生平和友好祭にむけた日本の国内運動もようやく活発となり、現在までに次のような状況が日本実行委員会に報告されています。

実行委員会としては中回青年歓迎運動や、クリスマス水爆実験反対運動等もニュースで少ししと全国的に交流したいと考えていますのでぜひ各地の状況を実行委員会へ送って下さい。

日本実行委員会の事務局は
東京都千代田区丸の内の一 日本交通公社海外旅行部内 第六回世界青年学生平和友好祭
日本実行委員会事務局です。

△北海道▽

第六回世界青年学生平和友好祭の北海道準備会が三月二十八日札幌市労働会館でひらかれ、全道労働青年協会の道学童、札幌地区労働青年協、全道学生自治会、札幌青年協会、国鉄労働組、日ソ親善協会、平和委員会代表ら二十名が参加した。準備会は、四月十五日までに、北海道実行委員会を結成、代表の送出先等ははじめることを検討した。この準備会に報告された各地の動き。札幌地区労働青年協、国鉄労働組、日ソ親善協会、札幌青年協、道学童青年部等はすでに代表選定を済ませており、道学童青年部等は、バレーチームを送りたい希望がでてくる。

△青森▽

青森県でも果敢組、青森銀行、国鉄労働組、全農林、全青森県青年文化協会等が中心になり、このほど実行委員会を結成した。「ワルツヤウ祭」には参加出来るが今年には十五人程度の代表団を送りたいと準備をすすめている。

△岩手▽

実行委員長には栗原組、事務局長には栗原少年文化協会が選ばれた。

△宮城▽

仙台地区で準備中も詳細不明

△福島▽

福島県青年文化協会連絡協議会ではモスクワ祭典に三名の代表を送ることをきめ、今泉正毅、高島孝雄、鈴木一之助が選ばれた。このほか若干の選考候補を準備している。

△新潟▽

ワルツヤウ祭典に国鉄の長沢君を送った新潟県でもこのほど新潟県実行準備会がつくられた。

準備会では活版のナラシで全県下の青年学生へ友好祭参加をよびかけ四月二十三日県庁会議室で実行委員

△石川▽

石川県連合青年団、石川県労働青年部、石川県青年部、日ソ青年連盟等五名が集って石川県準備会として発足することをきめ、更に本県青年団によりかけることに決めた。

△富山▽

四月八日の友好祭富山県打合せ会には、果敢組青年部、不二成本社、東富不二組、国鉄、富山大、うたごえ連協、ひまわり合資会、日ソ、入善青年団、社会党青年部、民主青年同盟、共産党青年部の十二団体から、来る二十一日に県準備会を開くことをきめた。

△群馬▽

高崎青年協では一月七日、果敢組では二月九日友好祭準備会をもちだした(詳細不明)。

△埼玉▽

埼玉では四月二十一日前橋市政島公園で第六回世界青年学生平和友好祭参加者の祭典を用く。

△埼玉▽

埼玉ではワルツヤウ祭典でうまれた青年婦人協議会が中心となり、四月十日の第三回県青年協には国鉄、全農林、埼玉青年部、国鉄労働組、救世軍、東武鉄道、川口労働協会の代表十四名が出席した。企画部、財政部、渉外課、宣伝部もそれぞれ分担当がきまり運動は埼玉県の青年協の強化とその組織化、埼玉平和友好祭と世界祭の二本立スローガンで進めることにきり全県の青年協、クエ三回にわたるオルタナティブ運動などもきり、現在予定されている集会は四月二十日に川口労働協、座談会、二十一日県青年部ハイキック、二十八日大宮地区青年部の取場交流とリクレーション等である。埼玉平和友好祭は七月二十八日と八月四日の二回にわたつてもたれる予定であり内容は民間とコーラス、合唱、フォーク、社交ダンス、労働青年、農村青年学生、婦人の各分科会が計画されている。

モスクワ祭典への代表は、県、市民から各一名程度を代表とする考えである。

△茨城▽

茨城県、県青年部、茨大、平和委、国際貨促地方
戦連等が中心に定つて四月二十三日第一回実行委
開かれる。

茨木市部でも三月三日、国鉄、全連、電通、東陽相互、
民青、農協、日産、眞壁、筑波那青協が揃つて準備会
がもたれ、県武、常総義団組合、緑の会の参加もす
んでゐる。四月中旬に準備会ではハイキングをおこ
うことになつた。西部準備会では六月下旬に全県の友
好寮用進を希望しているが、鹿島郡青協中心の第三回
海の平和祭も八月上期、鹿島町下津海岸で行なわれ
予定である。

モスクワへは十二、三人の代表を送る方針である。

△長野▽

諏訪地区で準備中(詳細不明)

△愛知▽

豊橋から代表一名派遣(詳細不明)

△三重▽

県青協、地区若青部、平和委員会等が中心に定つて
このほど友好寮準備会が組織された。県で十名位の
代表を送る予定。

△兵庫▽

市青連、サークル、民青で詰合つてモスクワ代表を
派遣すること。県の平和友好寮を用くことをきめた。
尚このモスクワ参夏、中国青年歓迎運動を通じて県の
青年部人会議をくりたいとゆうことも詰合されてゐる。

△滋賀▽

民青県委員会ではモスクワ参夏にむけて、友好寮の支
持、代表派遣、滋賀県平和友好寮の開催等について各
団体のアンケートをおこなつてゐるが、地評議長、社
会党青年部、全農林、八日市地区若青等から積極的
な回答がよせられており近く具体的に話し合はれ
ることになつてゐる。

△鳥取▽

大津では四月二十日県サと共催でブルンマウ参夏の
県会を開くことになり、日野でも計画されてゐる。
専攻でも代表派遣の動きやそれと関係した運動が始め
られてゐる。県青年部人会議では県下の運動を統一し
て進めるために具体的に検討中である。

△岡山▽

県評、教組、冊原、国鉄、県青協、社青同、民青が集
つて三月十二日発起人会がもたれ四月十日準備会、十
九日実行委員会結成の予定。
岡山ペンパルスクラブでも十名位の代表を送ること
をきめた。

△愛媛▽

県青連では五名の代表を送りたいと準備してあり地評
下もきまけてゐる。

△東京▽

第一回東京実行委員会は四月十八日国鉄会館にて開催
された。出席した(オマサバーを含む)
東京平和会、東京若青、東京既愛連、都青連、教青
会、乗振子会(砂川町)、東京地評青協準備会(全平
国鉄)日)、日中、日朝、民主青年同盟、東武交通
組、全日本金属青協、青年文化協会、国際貨促地方
戦連連盟、都学生寮協、東京国税若組、東商連、中興
実行委員会、友好寮国際準備会、以上順不同

確認事項は左記の通り
一、事務局は青年文化協会内、港区芝田村町四の二二
四四五七八に東京実行委員会事務局を置く。
二、実行委員会の中より担任団体が選出され、尚擔任
団体にわかもも参加団体の中より参加してもらい後
者は五月中旬迄未定にして事務局担当のみを承認す
る。

三、運動をすすめるために各団体より代表より分組金を
納入すること。担任団体は一ヶ月十円、五ヶ月分、
実行委員団体は一ヶ月五百円、五ヶ月分、代表は一
人三十円を東京実行委員会に納入する。
四、代表になる資格は、東京在住の団体、個人より石
り分組金その他を納入し、東京実行委員会の確
認を得て証明書を提出する。

五、東京市内の参夏を開催することについては各団体
の意向をもとに会場、学校、地域の文苑と文化参夏
の他にクレイジメンをやつてゆくことになつた。
六、さらに運動を進めるために、宣伝活動を強化して
ゆくことになつた。

七、予算その他が確認され第二回実行委員会は左記の
通り開催されることになつた。
日時 五月六日(日) 午後六時
場所 国鉄労働会館四階(八重洲口)
議題

- 一、代表団の制当
- 二、運動をさらに進めるために
- 三、(1)東京市内の各種の集会について
- (2)友好寮の中で開催される平和祭会について
- 四、予算について

以上